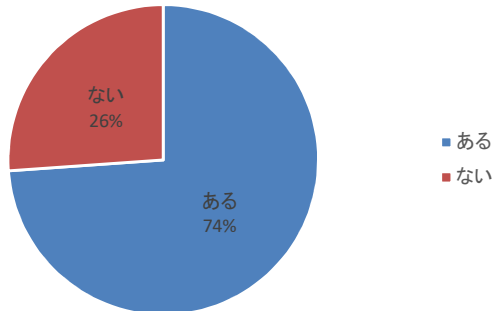


令和7年度 箕輪町二十歳のつどいアンケート結果

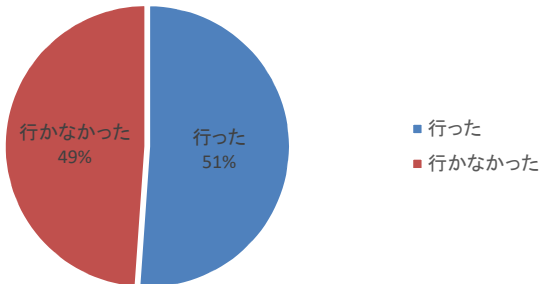
8月15日(金)に行われた二十歳のつどいの会場で、「選挙に関するアンケート」を実施しました。

回答者：88人

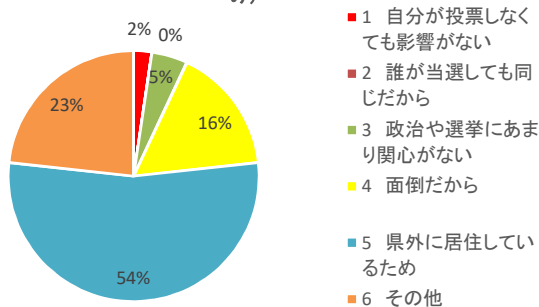
問1 政治や選挙に関心がありますか？



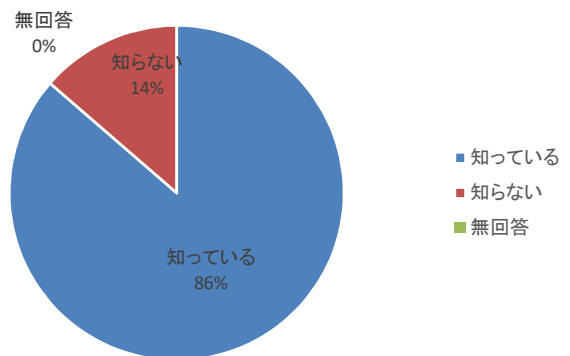
問2 令和7年7月の参議院議員選挙の投票へ行きましたか？



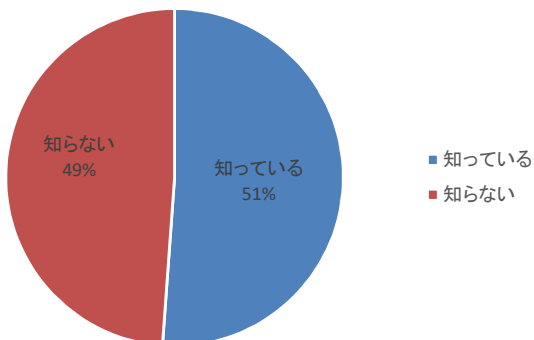
問3 問2で「投票に行かなかった」と答えた方にお聞きします。投票に行かなかった理由は何ですか？(最も近いもの1つのみ)



問4 「期日前投票」の制度を知っていますか？



問5 「不在者投票」の制度を知っていますか？



質問6 どうしたら若い人たちの投票率が上がると思いますか？

- ・広告に力を入れる
- ・インターネット投票の導入
- ・SNSで気軽に政治の情報を入手できるようにする
- ・信頼できるような政治家を増やす

【結果と考察】

今回アンケートにご協力いただいた方の約7割が政治や選挙に関心があるとの回答でした。しかし、「令和7年7月の参議院議員選挙の投票へ行きましたか？」という質問に対して、投票へ行ったと回答した方は51パーセントに止まりました。投票に行かなかったと答えた方の理由を見ると、「県外に居住しているため」という理由が54%と最も高い割合を占めています。質問4、質問5の結果を見ると、「期日前投票」について86%の方が知っているのに対して、「不在者投票（箕輪町に住民票があって、町外、県外に滞在している場合、その滞在地での投票ができる制度）」について知っている方は51%で、例年と比較すると知っている方の割合が高くなっていますがそれでも半数の方は知らないというのが現状です。

「不在者投票」という制度があることを知ってもらうこと、かつ、制度を利用してもらう事が若者の投票率を上げることに繋がっていくと考えられます。

投票率がどうすれば上がるかという質問に対して、SNSやネット投票の導入などが若者の意見として多く出ているのでそういった部分の制度改革も今後は必要になっていくのではないかと感じます。

箕輪町選挙管理委員会と箕輪町明るい選挙推進協議会では、今回のアンケート結果を参考に、若者が選挙に関心を持ち、投票に参加していただけるような取り組みを検討していきます。

二十歳を迎えられた皆さん、ご協力いただきありがとうございました。